

国際教養学科 vol.20



↑大学HP

「地域探究I」函館・鹿部町で地域の魅力と課題を探究しました

函館国際ホテルの取り組み体験、市立函館博物館見学、市電で谷地頭探訪、函館山夜景観賞、五稜郭公園箱館奉行所見学、鹿部町吉の湯滞在、観光まちづくりセミナー参加、昆布漁師飯田家と一印高田水産見学、太田食堂で盛田町長を囲み懇談会食、しかべ間歇泉見学—道南地域の魅力と課題を探るフィールドワークです。

＜鹿部町盛田町長を
囲んでご当地グルメの
たらこ天井で懇談会食＞



函館国際ホテルでは国際薬膳調理師として四川料理や薬膳に幅広い知識と高い技術を持つ総料理長木村史能さんのお話をうかがい、道南地方の活性化についても触れていただき、市立函館博物館では学芸員小林貢さんから「北海道志海苔中世遺構出土銭」など解説をしていただきました。



＜鹿部町漁船体験＞



ニセコ町「第10回絵本ワールド」



留学生と参加しました。

ニセコ在住ダン・ピアシーさん作「ウッドリーとわんだフルな冬の冒険」の多言語読み聞かせやパネルシアターに参加して子どもたちと交流、絵本作家ほんままゆみさんのお話をうかがいました。

吉林師範大学で日本語教師実習、釜山外国語大学にも1年間留学

2024年2月24日から3月18日までの約3週間、国際交流基金「大学連携日本語パートナーズ派遣プログラム」が実施されています。このプログラムは、本学の提携校である中国四平市吉林師範大学で日本語を学んでいる学生に、日本語教師として日本語を教えるという教壇実習プログラムです。本学から国際教養学科2年生の2名が参加しています。日本語の授業の他にも、日本文化や北海道の紹介、日本アニメのアフレコ大会などの活動が行われます。このような活動を通し、現地学生との交流を深めながら教壇実習を行っています。

また、釜山外国語大学に1名留学します。2024年3月-2025年2月まで韓日共同高等教育留学生交流事業奨学金での派遣です。



↑吉林師範大学



↑1年生の授業（文法）



↑2年生の授業（会話）